

議事

1 令和6年度市振興施策の実績

(質疑等)

(4) 外国人労働者交流促進事業

(委員)

実際に須賀川市内で働いている外国人労働者は相当な人数がいると思うが、市では正確な全体数を把握しているのか。また、外国人労働者の国籍は、どのような比率になっているか伺う。

(事務局)

外国人労働者の雇用状況については、令和6年10月現在の須賀川ハローワーク管内での事業所数と人数を把握している。また、令和6年9月1日現在の市内500社を対象とした事業所経営・雇用動向調査による須賀川市内外国人雇用状況を把握しているが、須賀川市内の正確な全体数は把握できていない。

国籍について、令和6年度の外国人労働者の比率としてはベトナムが一番多く、フィリピン、中国の順になっている状況である。市内で外国人を雇用している企業の話では、最近はインドネシアもかなり増えてきているとのこと。今年度開催している外国人労働者向け日本語教室は現時点で2回実施し、ミャンマーやネパール国籍の参加者もいた。今までのベトナム人が多かった傾向からは、少しずつ変わってきている。

2 令和7年度市振興施策の実施状況

(質疑等)

(1) 中小企業融資等支援事業

(委員)

令和6年度予算額が資料1と資料2で異なっているが、どちらが正しいのか。

(事務局)

資料2には当初予算を記載したため、資料1の補正後の予算額と異なってしまった。

今後は、当初と補正の予算が分かるように記載することとしたい。

(委員)

資料内の体系図について事業の内訳は理解できるが、項目ごとの全体の予算額等をまとめてもらえと一目で理解しやすい。

令和6年度と比べて、令和7年度の目新しい事業などはあるか。

(事務局)

次年度から、予算額等を一覧表にしたものも作成したい。

また、市全体の予算の関係もあり、令和7年度の新規事業はなかった。優先順位をつけながら、対応している。

(11) まちなか活性化推進事業

(委員)

こぷろ須賀川運営費補助金の令和7年度予算が、令和6年度実績と比べて約2倍になっているがなぜ増えたのか。

(事務局)

運営費の主な内訳は、人件費である。令和6年度実績では辞職した社員がおり、令和7年度予算では今後採用する予定の職員分の人件費を計上した結果である。

資料全体として表記に分かりにくい部分があったため、来年度の資料作成時には分かりやすい表現にすることとしたい。

(6) ふるさとすかがわ就職支援事業

(委員)

一度、須賀川を出た方が受けられる支援とのことで、将来につながる大切な事業だと感じた。昨年度は関係人口の要件を満たして支援を受けられた方がいたとのことだが、関係人口の定義を具体的に教えてほしい。

(事務局)

関係人口については、移住関連のイベントに参加した方、地域づくり会議の構成メンバーとなり会議に参加した方、サポーターズクラブに加入している方、須賀川市にふるさと納税をした方などが移住前の要件となる。

（４）外国人労働者交流促進事業

（委員）

外国人労働者の増加に伴い、外国人労働者向けの日本語講座を行っているとのことだが、事業実施についての広報はどのように行っているのか。

（事務局）

須賀川商工会議所など関係機関への周知のほか、市内で外国人を雇用している企業の協議会に職員が出向き、説明をしてきたところである。定員は 40 名に設定しており、事前申込みも受け付けている。今年には既に 2 回実施しているが、各回の参加者は 10 名程度であり、当日不参加の方も多い状況となっている。